

聴覚障がい者への入試での配慮について

嘉悦大学

1. 主旨

コミュニケーション上の不自由さが面接に不利にならないように配慮を徹底する。質問が分からないときはゆっくりと聞き返し、時間がかかっても構わないこと、これが点数に影響を与えないことを伝え、確実なコミュニケーションを最優先する。

2. 配慮事項

基本的な配慮事項は以下の通りである。なお、あらかじめ障がいのある学生と必要な配慮事項の確認を行う。

- 面接者の顔や口が見えやすい配置にする
- コミュニケーションに多少時間がかかることが予想され面接時間を長めに設定する
- 注意事項は口頭並びに文書で渡す

2-1) 面接試験

- ・ 面接官の質問をどう伝えるか
- ・ 受験生の発言をどう伝えるか
 - ① 筆談の場合は、ホワイトボード・ペンを大学側が準備する
 - ② パソコン等からスクリーン・モニター等に投影する

2-2) 筆記試験

- ・ 受験生の席を最前列に配置する

以上